システムセットアップガイド（表面）

STEP1 箱を開ける ▶ STEP2 接続する ▶ STEP3 スピーカーの設置 ▶ STEP4 電源を入れる ▶ STEP5 再生する

本システムは、コンパクトながら迫力あるドルビーデジタルやDTSサウンドで、あなたの部屋をホームシアターに変身させます。
このシステムセットアップガイドでは、はじめてこのシステムをお使いになる方のために、接続と設置のしかたを説明しています。

⚠ 接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源コードを抜いてください。また電源コードはすべての接続が終わってから壁のコンセントへ接続してください。

STEP1 箱を開ける

付属品の確認

[DVD/CD レシーバー部の付属品]

- リモコン ×1

- 単３形乾電池※×２（AA/R6）
※動作確認用

- AM ループアンテナ×１（図は組み立てた状態です）

- FM 簡易アンテナ×１

- 電源コード×１

- ビデオコード×１

- MCACC セットアップ用マイク×１

- 保証書
- 取扱説明書
- システムセットアップガイド（本書）

[スピーカー部の付属品]

- センタースピーカー ×１

- フロントスピーカー ×２

- サラウンドスピーカー ×２

- サブウーファー ×１

- 滑り止めパッド（大）×４（サブウーファー用）

- 滑り止めパッド（小）×16（フロント、サラウンドスピーカー用）

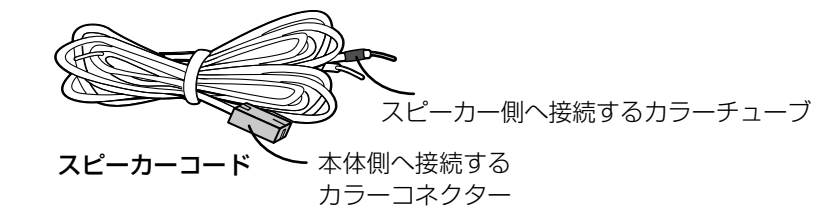
- ブラケット ×２
- ネジ ×４（ブラケット用）

- スピーカーコード
  4 m（赤色のフロントスピーカー用）×１
  4 m（白色のフロントスピーカー用）×１
  4 m（緑色のセンタースピーカー用）×１
  10 m（青色のサラウンドスピーカー用）×１
  10 m（灰色のサラウンドスピーカー用）×１
  4 m（紫色のサブウーファー用）×１

STEP2 接続する

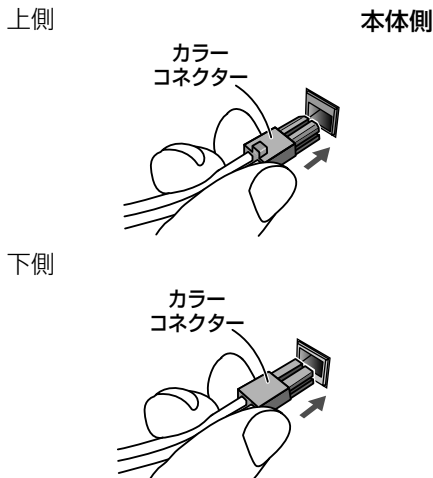
1 スピーカーコードをつなぎます

メモ

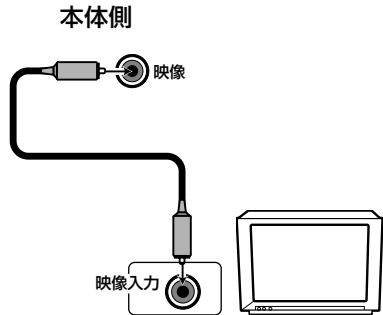
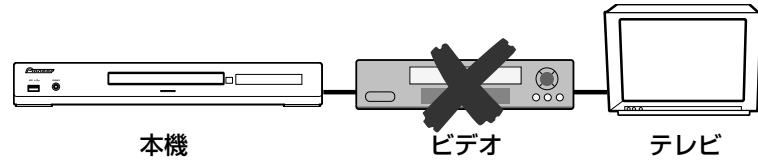
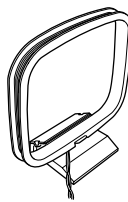
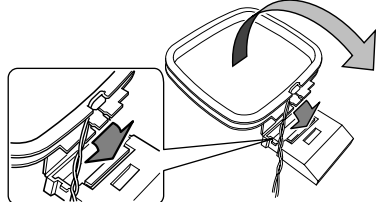
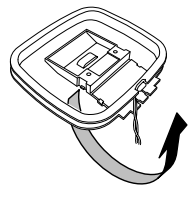
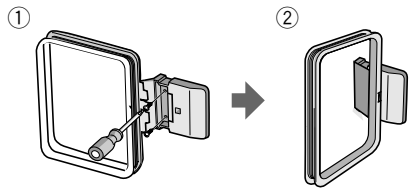
◆本スピーカーを本システム以外のアンプで使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。
◆スピーカーコードの芯線がはみ出して、芯線どうしが触れたりすると本機に過大な負荷が加わって動作が停止したり、故障することがあります。
◆スピーカーコードには非常に高い電圧が出力されます。感電の危険を避けるため、スピーカーを接続する前に必ず電源コードを抜いてください。

① カラーコネクターが付いていない方の先端の被覆は、ねじりながら引き抜きます。

② スピーカー側

スピーカー側の端子については、スピーカー端子のツメを押しながら芯線を端子に差し込みます。
スピーカーコードのカラーチューブのあるほうを端子の赤側（⊕側）に接続します。カラーチューブのないスピーカーコードは黒い端子の⊖側に差し込みます。
（スピーカーコードのカラーチューブの色と、スピーカーのリア部に貼られてあるラベルの色とを合わせます。）

③ 本体のスピーカー端子へスピーカーコードのカラーコネクターを差し込みます。
スピーカーコードはカラーコネクターの色と同じ色のスピーカー端子へ差し込みます。
スピーカー端子は上側と下側とで向きが異なるためカラーコネクターの向きを確認して差し込んでください。

2 テレビと接続します

付属のビデオコード（黄色のプラグ）を本機の映像出力端子に接続します。
次に、ビデオコード（黄色のプラグ）の反対側をテレビの映像入力端子(VIDEO IN)に接続します。
本機では、S端子、D1/D2 端子またはHDMI端子からでも、テレビと接続することができます。詳しくは、取扱説明書の 40 ページ「**他機器の接続と設定**」をご覧ください。

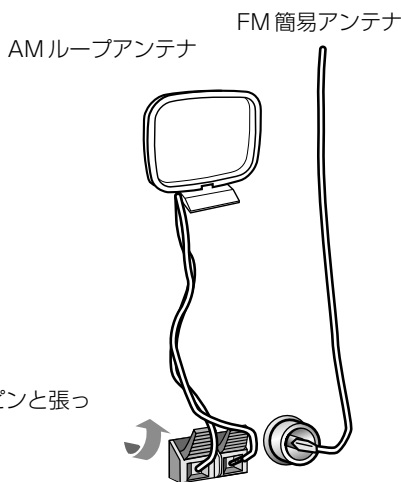
本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。
本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、本機をビデオデッキを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画して再生すると、正常な再生ができないことがあります。また、本機をビデオ内蔵テレビに接続すると、コピーガードによって正常な再生ができないことがあります。詳しくはお使いのテレビメーカーにお問い合わせください。

3 AMループアンテナを組み立てます

壁に取り付けるには....
市販のネジや画びょうなどを使って壁に取り付けてから組み立てます。

4 AMループアンテナとFM簡易アンテナを接続します

コードの被覆を回しながら引き抜きます。

AM アンテナ接続端子のツメを押しながら、AM ループアンテナのコードを端子に差し込みます。
コードを差し込んだら端子から指を離します。
AM ループアンテナは、本機からできるだけ離して置くことをお勧めします。

FM 簡易アンテナは、中央のピンに差し込んでください。
またFM簡易アンテナは、たらしておいたり、丸めたままにしないで最も良い受信状態が得られるように、ピンと張ってください。

◆付属の AM ループアンテナ以外のものは使用しないでください。

FM 簡易アンテナ
AM ループアンテナ

5 MCACCセットアップ用マイクを接続します

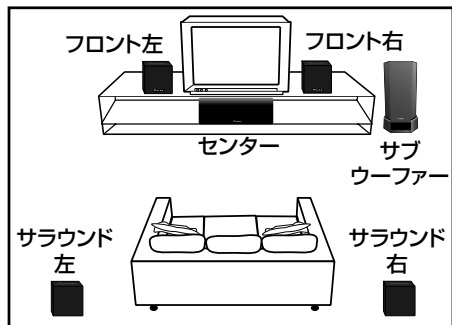
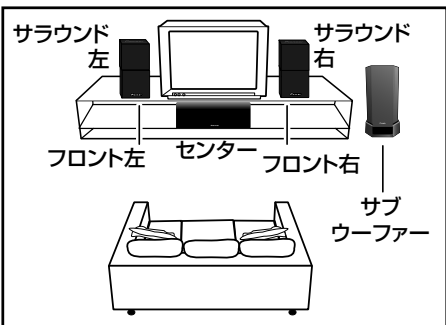
の付いている端子に確実に接続してください。

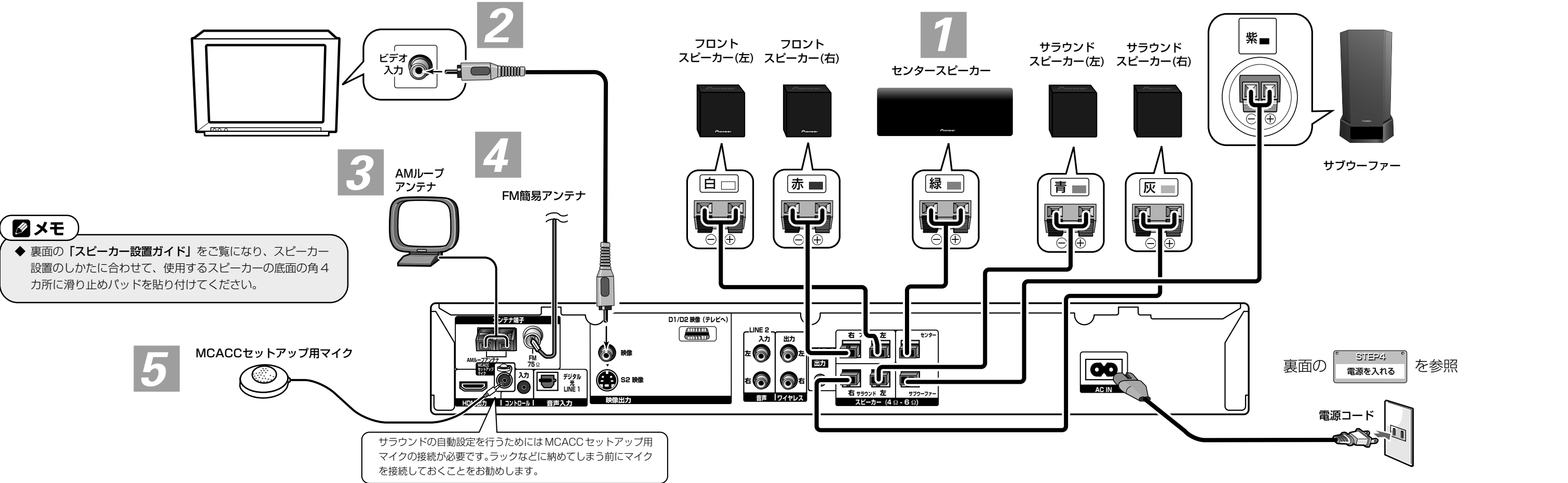
STEP3 スピーカーの設置

裏面の「スピーカー設置ガイド」もあわせてご覧ください。
サラウンド効果を最大限に引き出すには下図の「ノーマルサラウンド設置」をお勧めします。サラウンドスピーカーを設置するスペースが確保できないときは、「フロントサラウンド設置」でお楽しみいただくことができます。詳しくは裏面の「**スピーカー設置ガイド**」と取扱説明書の 18 ページ「**サラウンド再生**」をご覧ください。

ノーマルサラウンド 設置

フロントサラウンド 設置

サラウンド左
サラウンド右
フロント左
センター
フロント右
サブウーファー

- 左右に置いたスピーカーはテレビからは等距離で同じ高さになるように設置してください。
- センタースピーカーはテレビの下側に置き、センターチャンネルの音がテレビと同じ位置から聴こえるようにしてください。もしセンタースピーカーをテレビの上に置くときは、テープなどを使用して適切な方法で固定してください。固定しないと地震などの外部の振動により、スピーカーがテレビから落下してケガをしたり、スピーカーを破損する原因となります。
- ノーマルサラウンド設置のときは、サラウンドスピーカーは耳の高さからやや上方に設置すると効果的です。
- ノーマルサラウンド設置のときは、サラウンドスピーカーを視聴位置（リスニングポジション）から極端に離して設置すると、サラウンド効果が十分に発揮されません。
- 本機のフロント、センター、サラウンドスピーカーはテレビとの近接使用が可能なスピーカーですが、まれに設置のしかたによっては色むらを生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15分～30分後再びスイッチを入れてください。その後も色むらが残るようでしたらスピーカーシステムをテレビから離してご使用ください。
- 本機のサブウーファーはテレビとの近接使用ができませんのでテレビから離してご使用ください。また、磁気に影響しやすい機器（フロッピーディスク、カセットテープ、ビデオテープなど）は本機のサブウーファーから離してお使いください。
近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、相互作用によりテレビに色むらを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。
- サブウーファーは壁に掛けたり、天井に吊るしたりして使用しないでください。スピーカーが落下してケガをしたり、スピーカーを破損する原因となります。

メモ
◆ 裏面の「**スピーカー設置ガイド**」をご覧になり、スピーカー設置のしかたに合わせて、使用するスピーカーの底面の角４カ所に滑り止めパッドを貼り付けてください。

システムセットアップガイド（裏面）

STEP4 電源を入れる

1 リモコンに電池を入れます

矢印の方向に、裏ブタを開く ➡ ケース内に表記されている極性に合わせて、乾電池を入れる ➡ 裏ブタを矢印の方向に閉める

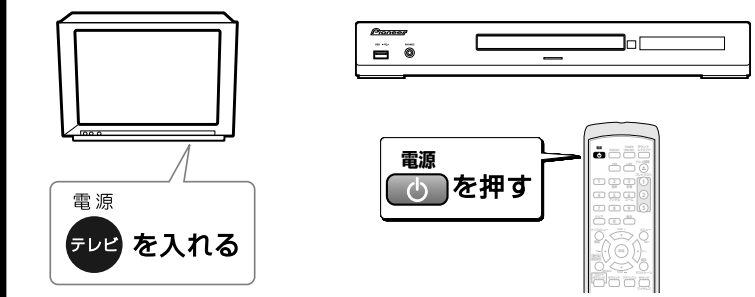
- ◆ 乾電池のプラス ⊕ とマイナス ⊖ の向きを電池ケースの表示通りに正しく入れてください。
- ◆ 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ◆ 乾電池には同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ◆ 長い間（1カ月以上）使用しないときは電池の液漏れを防ぐために電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- ◆ 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。
- ◆ 警告：電池を直射日光の強いところや、炎天下の車内・ストーブの前などの高温の場所で使用・放置しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂、発火の原因になります。また、電池の性能や寿命が低下する事があります。

2 電源コードを本体と壁のコンセントに差し込みます

電源コードを本体のACインレットに差し込み、電源コードのプラグ部を壁のコンセントに接続します。
初めて電源コードをコンセントにつないだ時は、自動的に電源がオンになりデモモードになります。詳しくは取扱説明書の47ページ**「デモ表示設定」**をご覧ください。

ACインレット

3 電源を入れます

テレビの電源ボタンおよび本機の電源ボタンを押して電源をオンにします。

4 テレビの入力を切り換えます

下のテレビ画面が映るように、テレビの入力切換ボタンを押して本機と接続している映像入力を選びます。

STEP5 再生する

1 スピーカーの接続確認をします

各スピーカーから「ザー」というテストトーンを出すことで、正しく接続されているかを確認します。
サラウンドボタンを押して、AUTOモードを選択してから以下の操作を行います。

各チャンネルが自動で切り換わり、テストトーンが出力されます。

➡

VOL 20

「ザー」というテストトーンが、すべてのスピーカーから順番に出ることを確認します。
決定ボタンを押すとテストトーンは止まります。
テストトーンが出力されるスピーカーが表示と異なる場合や、テストトーンの出ないスピーカーがある場合は、接続ミスが考えられます。もう一度裏面の接続方法を確認して、接続をし直してください。

2 再生します

ディスクテーブルを閉めると、自動的に再生を始めるディスクもあります。

再生するソースによってはセンタースピーカーやサラウンドスピーカーから音が出ないことがあります。取扱説明書の18ページ**「サラウンド再生」**をご覧になり、お好みに応じてリスニングモードを切り換えてください。

さあ、DVDの世界をお楽しみください！

最適な環境で迫力あるサラウンドを楽しむために

サラウンドの自動設定（MCACC）を行います

取扱説明書の12ページ**「サラウンドの自動設定（MCACC）」**をご覧ください。
マイクを使用した自動設定で、高精度なサラウンド設定を簡単に短い時間で行うことができます。

スピーカー設置ガイド

サブウーファーの設置のしかた

サブウーファーの底面の角4カ所に滑り止めパッド（大）を貼り付けます

スピーカーを壁に掛けて使う場合

- ノーマルサラウンド設置のときは、フロント、センター、サラウンドスピーカーを壁に掛けることができます。
- フロントサラウンド設置のときは、センタースピーカーを壁に掛けることができます。

- 壁に取り付ける場合は、重量・取付方法によっては落下・転倒などの危険性があります。事故のないように十分注意してください。
- 設置・据付場所は重量に十分耐え得る強度を持つ場所を選んでください。強度などが不明の場合は、専門業者にご相談ください。
- 壁に取り付けるためのネジは付属していません。柱や壁の強度や材質に合わせたものを使用してください。
- 据え付け・取り付けの不備、誤使用、改造、天災などによる事故損傷については、弊社は一切責任を負いません。

スピーカーの設置のしかた

- 本機ではサラウンドスピーカーを視聴位置の後方に設置する「ノーマルサラウンド 設置」と視聴位置の前方に設置する「フロントサラウンド 設置」の2つの設置方法が選択できます。お客様のリスニングルームの環境に合わせてどちらかの設置をお選びください。

ノーマルサラウンド 設置の場合

リスニングポジションの後方にサラウンドスピーカーを設置するスペースがあるときはこのように設置することをお勧めします。左右に置いたフロントスピーカーは、間隔を1.8 mから2.7 m程度離して、テレビから等距離になるように設置してください。

1 各スピーカーの底面の角4カ所に、滑り止めパッド（小）を貼り付けます

2 各スピーカーを配置し接続します

上図のように配置し、表面の「システムセットアップガイド」をご覧になり、接続を行ってください。

3 サラウンドモードを選択します

取扱説明書の19〜20ページをご覧になり、フロントサラウンド・アドバンスモード以外のサラウンドモードを選択します。

フロントサラウンド 設置の場合

リスニングポジションの後方にサラウンドスピーカーを設置するスペースがないときはこのように設置することをお勧めします。
左右に置いたスピーカーは、間隔を1.5 m程度離して、テレビから等距離になるように設置してください。

- ◆ ブラケットを使用した状態でスピーカーを持ち運ばないでください。ブラケットの破損や、スピーカーの落下によるけがなどの危険性があります。

1 各スピーカーの底面の角4カ所に滑り止めパッド（小）を貼り付けます

2 付属のブラケットを使ってフロントとサラウンドスピーカーを固定します

3 各スピーカーを配置し接続します

上図のように配置し、表面のシステムセットアップガイドをご覧になり、接続を行ってください。

4 スピーカーコードをブラケットの溝に通します

5 サラウンドモードを選択します

取扱説明書の20ページをご覧になり、フロントサラウンド・アドバンスモードを選択します。

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<XRA3039-A>